

こ ん に ち は



平成 25 年 第 9 号

虫の声で秋を感じるようになりました。

まだまだ残暑きびしいですね・・・

突然の停電に対して備えはいかがですか？



計画停電などは記憶に新しいですが、災害による停電は当然ですが突然やってきます。この所、落雷による停電が時々起こっています。

数分で復旧すれば問題ありませんが、数時間続くと困ってしまいますね。どうしたら良いか、対策を考えてみました。

暑い時期ですと、窓を開けて風通し良くし、冷凍庫に保冷剤などを用意しておく役立ちそうです。また、マンションにお住まいの方は、断水になるかと思いますので飲料水も必要です。夜間ですと、懐中電灯などの明かりを「いつもの場所」に置いておくこと、点灯確認も忘れずに！

訪問看護をご利用の方で、医療機器を使用されている場合は停電により機器を使用できなくなってしまう場合があります。



吸引器などは、内部バッテリーが付いており急な停電時にも使用できるものもあれば付いていないものがあるので確認しましょう。おうちで酸素をご使用の方は、酸素ボンベへの切り替え方法を普段から練習しておくとい良いでしょう。

日常の備えについてご不明な点などありましたら、訪問スタッフにお声かけください。

都筑区医師会訪問看護ステーション	TEL	045-913-5181
都筑区医師会ヘルパーステーション	TEL	045-913-3577
都筑区医師会居宅支援センター	〔	TEL 045-910-6327
		TEL 045-911-6100
都筑区医師会福祉用具センター	TEL	045-911-6100
看護・介護・福祉用具	FAX	045-911-6700
居宅	FAX	045-910-6506

☆☆パソコンから在宅事業部門の活動内容を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい☆☆

<http://www.tsuzuki-med.org/center/idea.html>

『ヨコハマつづき健康生活ナビ』の『在宅事業部門』からお入り下さい。



< お月見 >

旧暦の 8 月 15 日(新暦の 9 月 19 日頃)に、十五夜といって家々でお月見の行事が行われていました。これから始まる収穫期を前にして、収穫を感謝する初穂祭としての意味あいがありました。9 月頃に収穫される「芋」をお供えすることから「芋名月」ともよばれています。ちなみに、片見の月見は良くないと言われており、旧暦の 9 月 13 日(新暦の 10 月 13 日頃)にも、十三夜と言って家々でお月見が行われていました。

～お供え物～

団子 15 個、ススキ、オミナエシ、豆腐、柿、栗、サツマイモなどと、ススキの茎で作った箸を縁側の文机に供えます。が、満月のように丸い月見団子、と魔除けの力があるとされたススキを伴えるのが一般的な「十五夜スタイル」です。

月見が終わったあとのススキなどはひとまとめにして屋根の上に放り投げ、豆腐は翌朝の味噌汁に入れて食べました。

ちなみに、神奈川県内でもお月見に豆腐をお供えするところがあるようです。都筑区でもそのお話を聞いた事があるような…



～十三夜の団子は 13 個供えるそうです～



地方によってはこの日だけは、他人の畑の作物を無断で取っても良いとか、子どもがお月見のお供え物を盗んで良いとする風習もあるそうです

～秋・・・と言えば川柳
スタッフに聞いてみました～

食べちゃダメ
誘惑多い
秋の味覚
居宅 M

運動会 年々参加
つらくなる
事務 R

大山と 高尾を
走って登ります
リハ J

行きたいな もみじ散る散る
国立(こくりつ)の秋
ヘルパー O

温泉で ゆっくりしたいな
看護 Y



編集後記

朝、窓を開けたらひんやりした軽い風、遠くに丹沢の山並みが久々にきれいに見えました。まだ日中は暑い日もありますが、秋を感じ嬉しいです。(飯田)

【目安箱】

ご意見、ご要望などは、いつでもご遠慮なく、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

910-6327 主任管理者 吉井

